

千葉県中核地域生活支援センターニュースレター

ちばの地域福祉

東日本大震災を通して地域福祉について考えたこと

医療法人社団 花の谷クリニック院長
伊藤 真美

1999年、日本で介護保険制度がスタートしたとき、こんな事を書いた。「福祉と医療のあいだには高い壁がある。近くを動いているのに、壁によって遮断されている。実際の仕事ということになると、福祉と医療の境界線はあいまいである。特にケアの現場では、福祉との連携やコミュニケーションの重要性を痛感する。私は、介護保険制度に、この壁をとりはらう役割を期待したが、今は正直いって、かなり悲観的だ。」

この度の震災の後、医療、介護、福祉の関係者有志がつどい、「安房医療介護福祉連携・東日本大震災支援の会」(略称:AWA311-MCW)が発足した。

4月24日、宮城県の石巻市でいくつかの支援チームとともに、AWA311-MCWのメンバーも参加し、「青空市プロジェクト」を実行した。全国から集まる支援物資が、現地の集配所にひと月も動かずにあったり、ある避難所にはもうたくさん届き過ぎて管理に困っている一方、まだまだ届いていない地域があることを知った。石巻市内のごく一部の限られた地域ではあったけれど、前日民生委員の方々や住民の方々に現地で相談し、できるだけ多くの皆さんにアナウンスし、当日は6か所の広場をかりて青空市を開き、支援物資や千葉をはじめ全国から届けられたたくさんの野菜や果物を届けてきた。

今回、AWA311-MCWには、行政の方々にも参加していただき、何度か顔を合わせての連携をはかってきた。この度の青空市参加に際し、参加したメンバーの車両9台は、南房総市、鴨川市から「災害派遣等従事車両証明書」をいただき、平日なら約17000円ほどかかる石巻までの高速料金を無料で走ることができた。同様に手続きをしようとしたメンバーは、ある市では、石巻市からの要請の文書を求められなかったため交付してもらえず、またある市では、ボランティア任意団体には交付できないと断われた。

今回の「青空市プロジェクト」を通して、これからの地域福祉のあり方についても、考えさせられる事が多かった。非常時であっても、人ができる事は限られている、そして、現場を動かすのは、制度ではない、現場の私たちの日頃の行動規範であり、日頃のネットワークの構築である、ということを実感した。

冒頭に出した私の文章は、今ならこう書くだらう。「私は、介護保険制度に、この壁をとりはらう役割を期待するのではなく、日頃の現場の行動力でこの壁を乗り越えていきたいと思う。」

ちば・元気印！～こんなひと、見つけた～

五十嵐正人氏・小島覚子氏（ばおばぶ）

五十嵐さん・小島さんご夫婦は柏市に住んでいます。ご夫婦の他に、ゆうこさん、ゆみこさんという女性2人が一緒に生活をしています。ばおばぶでは、4人が住む家で子どものお預かりをしています。制度上の福祉サービスではなく、障害の種別や区分関係なく24時間年中無休で対応しています。

きっかけは、学生のころから、家族が用事のあるときなどに障害を持っている方たちをお預かりするという活動を行っていました。1980年代、障害を持っている方への生活支援は、「親がやるものだ。」という風潮が強かったです。当時「緊急一時保護」という、現在のショートステイのような制度がありました。しかし、その制度は前もって申請が必要である等、実際には使いにくいものでした。

ある日、ある家族の両親はお葬式に行かなくてはならなくなりました。この家族には、重症心身障害児であるAさんがいました。以前、緊急一時保護を使って嫌な思いをしたため、緊急一時保護は使わず、Aさんも一緒にお葬式に行きました。その帰り道、Aさんは発作を起こし、そのまま亡くなってしまいました。

私たちは、学生のときの活動の延長で、その後もボランティアで子どものお預かりをしていました。しかし、両親としては「ボランティアでは預けにくい」という思いがあったそうです。これらの出来事があり、仕事として始めました。

この活動をしていて、思っていることがあります。

制度はニーズにあったサービスを提供しているように見えます。例えば、緊急一時保護ではお母さんやお父さんが倒れたときに、子どもを預かることはできます。しかし、私はお母さんやお父さんが倒れないことが大切だと思います。自分たちが少し「体調悪いな…」と思ったときに、夜中でも予約なしに子どもを預けられた方が良いと思います。結果的に、私たちがお子さんを預かったから、倒れなかったのかどうかはわかりません。そう考えると私たちの活動はニーズにあっていないかもしれません。しかし、私たちは実際ではない部分を大切にしていきたいです。

また、「制度上のサービス」、「制度外のサービス」、どちらが良いというのではなく、障害を持っている方たちが制度上、制度外問わず、必要に合わせてサービスを使い分けられるようにサービスが展開されていくことが大切だと思います。



私たちの活動は、福祉というよりも「人間関係を築いている」ように思います！

事業所名 ばおばぶ

所在地 〒277-0885 千葉県柏市西原7-7-7

電話・FAX 04-7169-7710

Eメール baobab-i@jcom.home.ne.jp



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

災害義援金の募集

千葉県災害義援金

県内の被災された方々の生活再建支援として活用します。

実施主体 千葉県

振込先 千葉銀行県庁支店(普通預金 3180455) 千葉興業銀行本店営業部(普通預金 1081531)

京葉銀行本店営業部(普通預金 4221411) ゆうちょ銀行(00170-4-615)

口座名義 千葉県災害対策本部

振込手数料

千葉銀行、千葉興業銀行、京葉銀行、ゆうちょ銀行本支店および郵便局の窓口から同一銀行へは無料です。千葉銀行、千葉興業銀行へは全国の地方銀行協会加盟行の窓口から、京葉銀行へは全国の第二地方銀行協会加盟行の窓口からも無料です。なお、ATM、インターネットの場合は手数料がかかります。

募集期間 平成23年9月30日(金)まで

問い合わせ先

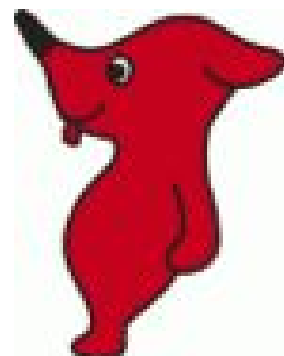
義援金制度について 県災害対策本部広域支援班 043(223)3335

振り込み、受領証発行について

県出納局(〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1)

043(223)3314 043(221)3859

税制について 県税務課 043(223)2114



千葉県内で被害が大きかった自治体でも義援金を募集しています。

旭市 会計課 0479-62-5335 http://www.city.asahi.lg.jp/section/kaikei/kaikei_001.html

香取市 会計課 0478-50-1216 <http://www.city.katori.lg.jp/section/soumu/news/saigai-20110311.html#s10>

山武市 総務課 0475-80-1112 <http://www.city.sammu.lg.jp/extramenu/bousai-kinkyu/gienkin.html>

九十九里町 企画財政課財政係 0475-70-3126 <http://www.town.kujukuri.chiba.jp/0000000509.html>

浦安市 財政課 047-351-1111 <http://www.city.urayasu.chiba.jp/item24752.html>

皆様のご協力、よろしくお願い致します。

いちはら福祉ネット 所長 大戸優子

「いちはら福祉ネット」は、市原圏域（市原市）を担当しています。圏域人口は約 28 万人。

市原市は千葉市の隣に位置し、北は東京湾に面したコンビナート群、南は観光地として有名な養老渓谷と南北に細長く伸び、その間には、商業地や日本有数のゴルフ場・田んぼや梨畑・大学などが存在する、とてもバラエティに富んだ地域です。

当センターには、所長・コーディネーター 1 名・相談員 2 名と、別事業ではありますが千葉県障害者グループホーム等支援ワーカー 1 名が机を並べています。その他、当法人内の別事業所にこれまで当センターで経験を積んだ職員が兼務の相談員として配置され、以上のスタッフで日夜住民の皆様や関係機関の方々から寄せられる様々なご相談をお受けし、活動しております。事務所は、これまでの JR 五井駅前から、この 4 月に市原市役所近くに移転したばかりです。

市原圏域には、比較的多くの社会資源(福祉施設や事業所、病院、当事者団体など)があります。当センターで受けるご相談は、障がいのある方が複数いるご家族や外国人のご家族、最近では、ひきこもりに関することなどが多いのですが、1つ1つの問題にいろいろな社会資源と協力しあいながら対応しています。それぞれに立場ややり方が違うので、最初は意見がまとまらないときもあります。問題が複雑ですんなりと解決しないこともあります。でも「困っている方をなんとか助けたい」という想いは皆同じ。試行錯誤しながら、だんだんお互いを理解し、信頼関係をもって連携できるようになってきました。これからも多くの方と手を携え、地域住民の方が安心して暮らしていける市原にしていきたいと思っています。



中核地域生活支援センターいちはら福祉ネット

〒290-0074 市原市東国分寺台 3-10-15

TEL 0436-23-5300

FAX 0436-23-5225

MAIL ichihara_f.net@bh.wakwak.com

HP http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：香取ネットワーク（香取圏域）佐原市北1-11-18 TEL:0478-50-2800 FAX:0478-50-2881

編集：海匠ネットワーク（海匠圏域）旭市イの1775 TEL:0479-60-2578 FAX:0479-60-2579

内容についてのお問い合わせは、海匠ネットワーク（担当：丸山）までお願いします。